

**POWER SUPPLY
PW800W****取扱説明書**

このたびは、ヤマハパワーサプライPW800Wをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

PW800Wは、ヤマハプロオーディオ機器専用の電源ユニットです。

PW800Wの優れた機能を使いこなしていただくために、この取扱説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。

また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管されますよう重ねてお願い申し上げます。

* この取扱説明書に記載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

* この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源 / 電源コード



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。
故障、発熱、火災などの原因になります。ただし、日本国外で使用する場合は、付属の電源コードを使用できないことがあります。お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。



必ず実行

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。
確実に接地接続しないと、感電の原因になります。



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

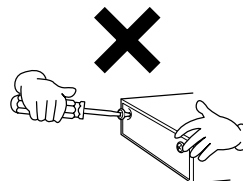
分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

注意

電源 / 電源コード



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源のON/OFFは、必ずこの機器のPOWERスイッチで行なう。

電源コードの抜き差し、OAタップのスイッチ、プレーカーのスイッチなどでオン/オフはしないでください。故障の原因となることがあります。

設置



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

フロントパネルの電源スイッチを容易にオン/オフできるように設置する。

異常を感じた場合には、すぐに電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

EIA標準のラックにこの機器をマウントする場合は、ラックの背面を開放して、ラックを壁から10cm以上離す。その場合は、この機器を2台重ねてマウントできます。放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。

EIA標準のラック以外にこの機器を入れる場合は、この機器を壁や他の機器から後ろに10cm、上に10cm以上離してください。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

この機器の通風孔をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、この機器のフロントパネルとリアパネルには通風孔があります。特に、この機器をひっくり返したり、横倒しや前後逆さまにしたりしない。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

使用時の注意



禁止

この機器の通風孔やパネルのすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

この機器の通風孔やパネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。
入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



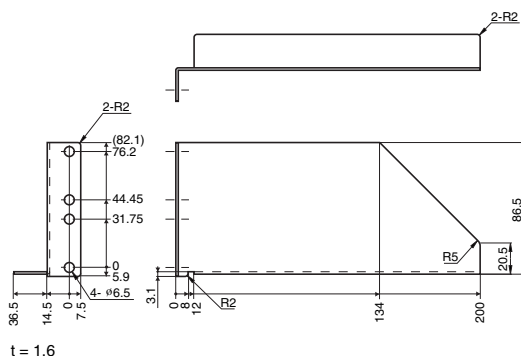
禁止

この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

PW800WのPOWERスイッチのON/OFFを、連続して素早く切り替えしないでください。POWERスイッチをオフしてから、再度スイッチをオンにする場合は、5秒以上の間隔を空けてください。電源が供給される機器本体が、正常に起動しない場合があります。

ラックマウント時の注意

ラックにこの機器をマウントしたまま、ツアーなどで頻りに運搬する場合は、ラックのサイズに合う取り付け金具を製作して、リア部を支えてください。取り付け金具を製作する際には、右の図を参考にしてください。ただし、右の図は取り付け金具の片側のみ示しているため、反対側の(対称の)金具も製作する必要があります。



PW800Wはヤマハプロオーディオ機器専用ですが、お使いの機器本体の電源容量の条件が一致しなかったり、コネクターの形状などが異なったりする場合は、PW800Wをお使いいただけません。PW800Wが対応しているかどうかにつきましては、お使いの機器本体の取扱説明書をご覧ください。

お使いの機器本体との接続には、本体側に付属のケーブルをお使いください。M7CLとの接続には別売の電源リンクケーブル PSL360 をお使いください。また、PW800Wを2台並列接続させる場合には、別売の電源リンクケーブル PSL120 を使ってPW800W2台を接続してください。

- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。
- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。

スイッチ、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

各部の名称と機能

■ フロントパネル



① POWER ON/OFFスイッチ/POWERインジケータ

POWER ON/OFFスイッチ:

このスイッチをONにするとお使いの機器本体に電源が供給されます。

PW800W に電源を入れるまでの手順

- 1 PW800WのPOWERスイッチがOFFになっていることを確認する。
- 2 付属のケーブル（またはPSL360）を使って、お使いの機器本体とPW800Wを接続する。
- 3 PW800Wの電源コードを使って、PW800Wをコンセントに接続する。
- 4 POWERスイッチをONにする。



PW800WのPOWERスイッチが必ずOFFの状態、付属のケーブル（またはPSL360）を使ってPW800Wとお使いの機器本体を接続してください。POWERスイッチがONの状態に接続すると、お使いの機器本体が故障する場合があります。

必ず実行

POWERインジケータ :

PW800Wからお使いの機器本体に電源が供給されると、POWERインジケータが点灯します。

NOTE:

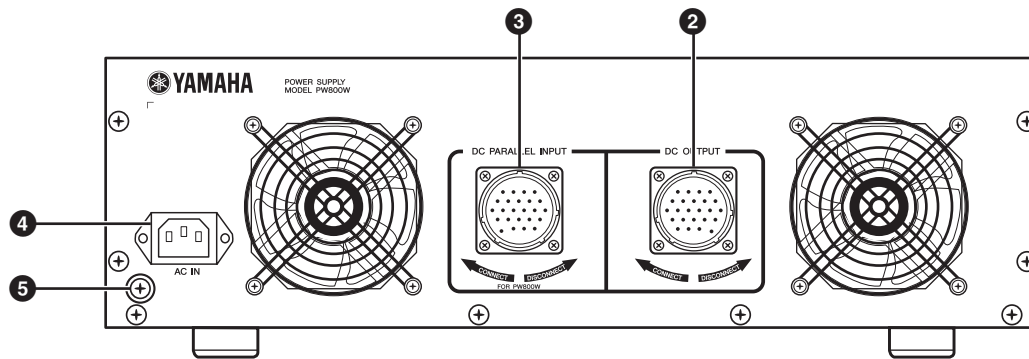
お使いの機器本体とPW800Wを正しく接続してPOWERスイッチをONにすると、POWERインジケータが点灯します。ただし、POWERスイッチをONにしてもお使いの機器本体とPW800Wが正しく接続されていない場合や、PW800Wの故障のためDC24Vが出力されない場合、インジケータは点灯しません。



禁止

フロントパネルとリアパネルには強制冷却用ファンの通風孔がありますので、ふさがないでください。

■ リアパネル



② DC OUTPUTコネクタ

お使いの機器本体と接続して機器本体に電源を供給するための端子です。

並列接続用の電源として使用する場合は、メインのPW800WのDC PARALLEL INPUTコネクタと接続します。

機器本体との接続には、必ず機器本体に付属のケーブルをお使いください。M7CLとの接続には別売の電源リンクケーブルPSL360をお使いください。並列接続用の電源として使用する場合は、メインのPW800Wとの間で別売の電源リンクケーブルPSL120をお使いください。右回りで接続、左回りで取り外しができます。

③ DC PARALLEL INPUTコネクタ

2台のPW800Wを並列接続するための端子です。2台のPW800Wを接続すると、一台のPW800Wがトラブルでシャットダウンしても残りのPW800Wで電源を供給し続けることができます。必ず別売の電源リンクケーブルPSL120をお使いください。右回りで接続、左回りで取り外しができます。

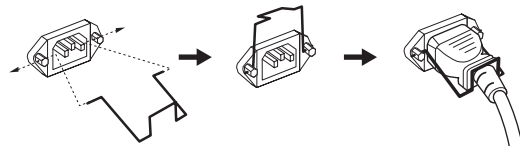
④ AC IN端子

付属の電源コードを接続します。まずPW800Wと電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。誤って電源コードがAC IN端子から外れないように、付属の誤脱防止クランプで電源コードを固定してください。



電源コードは付属のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になることがあります。

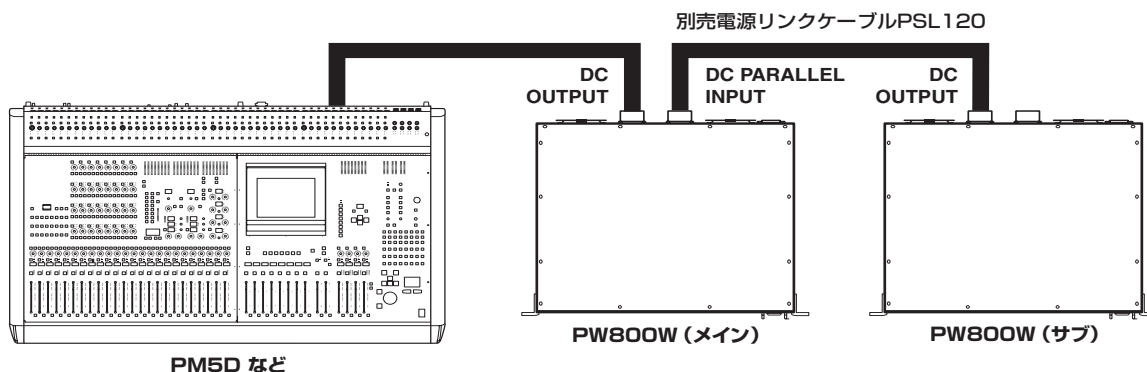
誤脱防止クランプの取り付け方



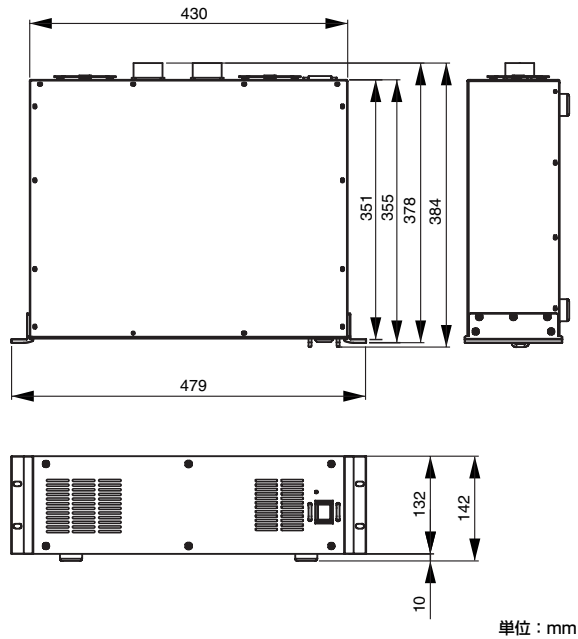
⑤ アース用ネジ

付属の電源コードは3芯プラグですので、ACコンセントがアースされていればPW800Wは電源コードから適切にアース接続されます。さらに、このネジもアース接続することで、ハムノイズ、干渉ノイズなどを改善できる場合があります。

PW800Wを並列接続する場合



■ 寸法図



単位：mm

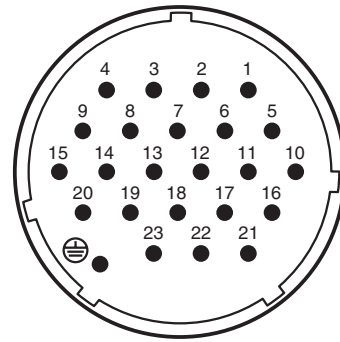
■ 仕様

一般仕様

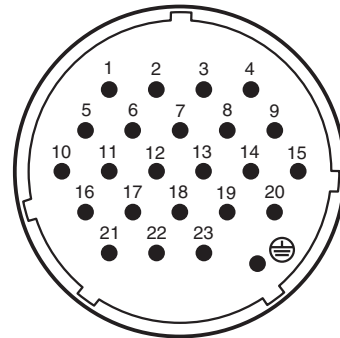
消費電力	1000W	
外形寸法 (WxHxD)	480mm×142mm×384mm	
質量	10kg	
付属品	電源コード、誤脱防止クランプ、取扱説明書、保証書	
温度範囲	使用時	10℃～35℃
	保管時	-20℃～60℃

電源ケーブルのピン配列

DC PARALLEL INPUT



DC OUTPUT



No	Function
1	+24V
2	+24V
3	+24V
4	+24V
5	+24V
6	+24V
7	+24V
8	+24V
9	+24V
10	GND
11	GND
12	GND

No	Function
13	GND
14	GND
15	GND
16	GND
17	GND
18	GND
19	CAUTION (+)
20	CAUTION (-)
21	DETECT A
22	DETECT B
23	DETECT GND
⊕	Frame GND

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
この製品は、JIS C 61000-3-2に適合しています。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

●保証書

この製品には保証書が付属しています。販売店印、お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品の例

スイッチ、接続端子など

●補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

●お客様ご相談窓口

アフターサービス以外で、製品に関するご質問・ご相談は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

●お客様ご相談窓口：

ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663
(電話受付=祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)
ONLINE support: <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

●営業窓口

PA事業部 マーケティング部 CA国内マーケティンググループ
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 日本橋第2ビル
03-5652-3851

PA事業部 マーケティング部 PAマーケティンググループ
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

市内通話料でOK
ナビダイヤル ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 東日本 (北海道/東北/関東/甲信越)
03-5762-2125

西日本 (沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸)
06-6465-0374

◆修理品お持ち込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45
(祝日および弊社休業日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内
FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラクターミナル
内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

名古屋サービスステーション

〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目1-11
ピアノ運送株式会社 名古屋営業所1F
FAX 052-363-5903

大阪サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX 06-6465-0374

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX 092-472-2137

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト：

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー：

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

ヤマハ株式会社

C.S.G., Pro Audio Division
© 2004-2011 Yamaha Corporation
111MWTO-D0
Printed in Japan

WC28580